

令和元年 11 月 11 日

各位

昭和電機株式会社
代表取締役 柏木健作

2020 Mistresa Jr. Team 募集について

先日発表させていただきました Mistresa Jr. Team のチーム員募集を開始いたしますのでお知らせします。

1. 応募要項

■応募資格

- ・18 歳以下の男女（※18 歳以上の方で受付希望の場合はその旨連絡ください）
- ・MFJ ライセンス所持の方(国内・国外)

2. 選考の流れ

①昭和電機担当 山崎へメールで以下の事項をお送り下さい(11/25 迄)。

氏名/連絡先(住所・すぐに連絡のつく電話番号)/年齢/主な戦績(各サーキットでの自己ベスト含む)/抱負

メールアドレス：yamasaki@showadenki.co.jp

担当よりご返信いたします。

②一次審査結果をご連絡します。

一次審査通過者多数の場合はセレクションに参加していただきます。

3. 備考

- ・合格者がレース出場時には SDG 指定のチーム名、カラーリング、ウェア着用が義務付けられます。
- ・交通費、食事代、サーキット施設の破損修理費用、怪我よる治療費等は各自のご負担となります。

<お問合せ先> 昭和電機株式会社 マーケティング統括部

山崎 未由希 yamasaki@showadenki.co.jp

SDG Mistresa Jr Team プログラムについて

次世代の全日本を担うトップライダーへのステップアッププログラム



2019年11月2日現在 昭和電機株式会社

若い原石に対する、地方選から全日本トップチームへの道の 明確化、目標設定の確立

現在、各地方選手権を走っていて、さらに上の、全日本のフィールドへとステップを模索しているライダーに対し、アピールする機会と場所を提供、次世代全日本トップライダーになりうる人材の積極的な発掘を狙う。

また、トップチームであるSDG Mistresa RT HARC-PRO.と同カラーリングで走ることによる、モチベーションアップとトップ昇格への目標の具現化。



国際ライセンスライダー

指定する全日本選手権1レースへの参戦招待

指定する全日本選手権J-GP3の1レースへ、トップライダー同様の待遇でマシンを準備し、参戦サポート予定。

経験・実績のあるメカニックを招集し、トップチーム(SDG Mistresa RT HARC-PRO.)と同レベルにて全日本J-GP3スポット参戦にライダーを招待。

マシンパフォーマンス含め、トップレベルの取り組みを肌で体感でき、また全日本上位を争うことのできるマシンパッケージでの参戦により、ライダーとしての実力を思う存分全日本の舞台でアピールする機会を提供。

SDG Mistresaカラーリングへの塗装サポート

SDG Mistresa Jr Teamとしての対外的なアピール含め、走行を行うマシンは常にSDG Mistresaカラーのカウルを使用する。そのための塗装費用サポート。

SDG Mistresaのチームウェアも用意。

国内ライセンスライダー

指定する全日本選手権1レースへの参戦サポート

指定する全日本選手権J-GP3特別参加枠の1レースへ、トップライダー同様の待遇で参戦フルサポート予定。

経験・実績のあるメカニックを招集し、トップチーム(SDG Mistresa RT HARC-PRO.)と同レベルにて全日本J-GP3の特別枠参戦。

トップレベルの取り組みを肌で体感し、またライダーとしての実力を全日本の舞台でアピールする機会を提供。

マシンはライダーの所持するチャレンジ仕様の持ち込み。

SDG Mistresaカラーリングへの塗装サポート

SDG Mistresa Jr Teamとしての対外的なアピール含め、走行を行うマシンは常にSDG Mistresaカラーのカウルを使用する。そのための塗装費用サポート。

SDG Mistresaのチームウェアも用意。

詳細は申込者に別途ご案内申し上げます。

①年齢

18歳以下

②エントリー名

SDG Mistresa Jr Teamのチーム名 ※全日本、地方選問わず、すべての参戦レース対象。

③マシンカラーリング

SDGのマシンカラーリングですべての走行を行うこと。ただし、個人スポンサー等のステッカー貼付は協議の上、決定する。

④チームウェア

サーキットでは常にSDGチームウェアを着用し、Jrプログラム契約ライダーとして模範的な行動を心がけること。

⑤マシンパッケージ

事前に決められたマシンパッケージ（タイヤやその他車体パーツ）での参戦を継続すること。

⑥参戦タイミング、実施サーキット

トップチームのサポートにより参戦するレースについては、運営側での協議の結果をもって決定を行うため、参戦タイミングや実施サーキットについて異議、異論の無きこと。

⑦タイム基準

主戦場としているサーキットの自己ベストタイムについて、以下の基準を超えていること

ツインリンクもてぎ 2'05"500

筑波サーキット 1'01"600

鈴鹿サーキット 2'22"400

スポーツランドSUGO 1'38"300

岡山国際サーキット 1'39"600

オートポリス 2'01"900